

モンゴルオルゴイ湖掘削試料のOSL年代測定 OSL dating of sediment core in Olgoi lake, Mongolia

*五十嵐 雄大¹、長谷部 徳子¹、勝田 長貴²、長谷川 精³、Davaasuren Davaadorj⁴、田中 幸哉⁵、
Udaanjargal Uyangaa¹、福士 圭介¹、Niiden Ichinnorov⁶
*Yudai Igarashi¹, Noriko Hasebe¹, Nagayoshi Katsuta², Hitoshi Hasegawa³, Davaadorj
Davaasuren⁴, Yukiya Tanaka⁵, Uyangaa Udaanjargal¹, Keisuke Fukushi¹, Ichinnorov Niiden⁶

1. 金沢大学、2. 岐阜大学、3. 高知大学、4. モンゴル国立大学、5. キョンヒ大学、6. モンゴル科学アカデミー
1. Kanazawa University, 2. Gifu University, 3. Kochi University, 4. National University of Mongolia, 5. Kyunghee
University, 6. Mongolian Academy of Science

モンゴル南部の山脈に挟まれた盆地には多数の湖が存在しており、“Valley of the Lakes”と呼ばれる。これらの湖は、第四紀の間で水位変動を繰り返している。この湖水位変動は気候変動を読み解く重要な情報である。南部の大きな盆地であるValley of the Gobi lakesの大きな流入源となるのはハンガイ山脈からの流入である。本研究の調査湖であるオルゴイ湖は、Valley of the Gobi lakesの他の湖よりハンガイ山脈山頂に近い。流入を敏感に反映している可能性が高いが年代報告例が非常に少ない。本研究では、オルゴイ湖の掘削試料の石英OSL年代測定を行った。この掘削試料は完新世をカバーする0.7~10kaの年代値を示した。さらに、オルゴイ湖掘削試料の最たる特徴として見られる砂礫の層の堆積が完新世の急激な気温変動イベントに関連していた可能性が示唆された。また、この掘削試料の深度7.5-9.0mで大きな年代のギャップがあった。これは過去の堆積環境、さらには気候を反映している可能性が高いが、本研究の年代値からは議論に至らなかった。このオルゴイ湖の複雑な堆積環境の変遷を読み解くには、高分解能な堆積物特性との比較が必要である。

キーワード：モンゴル、湖沼堆積物、OSL年代測定
Keywords: Mongolia, Lake sediment, OSL dating